



コミュニティ通信

コミュニティ通信は、地域の様々な取り組みを紹介し、皆様に“コミュニティや地域活動にもっと興味を持っていただきたい”“身近に感じていただきたい”、そんな思いを反映して発行しています。



今号のテーマは“子ども・伝統文化継承”です

～地域で取り組まれている、子ども・伝統文化に関する様々な活動を紹介します～

南区

日佐校区

子どもすもう大会

日佐校区では、毎年、幼児から小学生までが参加し、「子どもすもう大会」を行っています。地域全体で協力し、地域の絆を大切にしながら、長年続いている日佐校区の取り組みをご紹介します。

見合って見合ってえ



はっけふ〜い、
のこった、のこった!!



詳しくは中面へ

南区
日佐校区

子どもすもう大会

はじめたきっかけ

お ~い、みんな、相撲を取りにおいで！
外で遊ぶ機会が少なくなってきた子どもたちに、思いっきり体を動かす機会を作ってあげたい、と始めたのがきっかけです。
伝統文化である相撲を通じて「礼に始まり、礼に終わる」との礼儀を学び、相手を思いやる心を育ててほしいとの願いも込められています。



相撲の指導や
行司をされてる
柴田さん

大会に向けての準備

さ あ、まずは土俵づくり！
雨と風で崩れてしまった土俵の修復はとても大変ですが、皆で協力して土を削ったり盛ったりしながら、形を整えていきます。



こ どもも大人もみんなで練習！
子どもたちは、大会の1週間ほど前から、土俵入りや取組みの練習を重ねていきます。

そして、子どもたちのまわしを締める役目の子ども育成会の皆さんも、初めての経験に悪戦苦闘。
こちらも、練習を重ねていきます。



いよいよ、大会本番！

う れしそうに思いっきり取組みをする子どもたち。

はっけよ〜い、
のこった、のこった!!



女の子もがんばれ、がんばれ！

平成27年9月13日(日)に開催された大会には、45名の子どもたちが参加しました。

大会を終えて

く ろうすることもいろいろありますが、地域で助け合い協力し合って開催することで、地域の絆も深まっています。
子どもたちには、勝つことの喜びや負けることの悔しさを経験しながら、健やかに成長していてもらいたいと思っています。お孫さんを見に来られた方からは、とても感動した、今後もぜひ続けてほしいと声を掛けられ、楽しみに見に来てくださる方がたくさんいます。長年続いている校区の伝統行事を、今後も継続していきたいと思っています。



自治協議会
佐藤会長

子どもすもう大会がつなぐ、世代を越えた地域の絆は、伝統行事を守っていききたいという、地域の思いによって支えられています。
来年もまた、子どもたちの元気な笑い声が響き渡る秋が楽しみです。

早良区
田隈校区

たぐま子どもキャンプ 「いかだ」を作って川へ出航

「たぐま子どもキャンプ」は、子ども会育成連
合会や、たぐまキャンプ実行委員会など地域の人
たちとともに田隈小学校の先生方も一緒になって、子どもたちの健や
かな成長を願いみんなで力を合わせて作り上げている恒例のイベン
トで、今回で14回目となりました。

参加した小学校3～6年生69名が、夏休みの週末に日ごろ慣れ親し
んでいる田隈小学校で「自分のことは自分でしよう!」「みんなで仲良く協
力しよう!」「あいさつをしよう!」という3つのルールを守りながら、野外
での一泊二日の集団生活を楽しみました。



手作りいかだで川下り



いかだ作りに挑戦



校庭にテント設営

1日目には、班ごとに分かれて「いかだ作り」に挑戦しました。木材と発
泡スチロールの手作りいかだで、帆には思い思いの絵を描きました。夕飯
には定番のカレーを作ってみんなでおいしくいただきました。テントも子
どもたち自身で校庭に設営しました。夜の「きもだめし」では、おばけに扮
した先生方の演技があまりに怖くて泣き出す子もいました。

2日目のメインイベントの「川下り」では、前日に作った「いかだ」を室見
川に浮かべて、子どもも大人も大はしゃぎしました。

天候にも恵まれ、子どもたちの元気な声と笑顔に溢れた二日間でした。
子どもたちにとって、そして、お世話をされたスタッフの皆様にとっても、
きっと忘れられない大切な思い出になることでしょう。

博多区
博多校区

冷泉どんと焼き (新春子ども会交歓会)

1月の行事といえば「どんと焼き」!

毎年、会場となる旧冷泉小学校グラウンド
には子どもから高齢者までたくさんの方が集まります。このどんと
焼きでは、3年前の子ども山笠で制作された人形が中央に鎮座し、
正月飾りやしめ縄と共に供養されるのです。

地域で生まれ育った子ども達にとって、山笠は物心つく前から
生活の一部となっています。博多小学校の「子ども山笠」の人形は、
毎年博多小学校6年生が心を込めて制作し、7月上旬に博多のまち
を昇り廻ったものです。

当時、人形制作に携わった中学3年生たちも会場に集ってきます。そして、燃えさかる炎を見ながら当時を
思い出し、記念撮影し、変わらぬ友情を確かめ合い、そして山笠の魅力を再確認するのです。

地域の人が準備してくれた豚汁やぜんざいは、どんと焼きの炎とともに心と身体を温かくしてくれます。



点火前に祈とうする消防少年団の子どもたち



「子ども山笠」の人形(伊達政宗)



人形制作に携わった中学3年生

中央区
平尾校区

の むら ぼう とう に
勤王の女流歌人 野村望東尼の行跡を後世に

～平尾望東会～

平尾校区には、幕末の女流歌人であり、勤王の人である野村望東尼(1806～1867)が
隠居生活を過ごした平尾山荘が今も残っております。

野村望東尼は、今から210年ほど前の文化3年(1806)に福岡藩の中級武士の家の三女(本名:もと)として生
まれ、福岡の学問塾で国学・和歌・書道を学び、師匠の二川^{ふたがわ すけちか}相近の勤王思想に接して育ちながら、24歳で塾の同門
の野村貞貫^{の むら さた つら}の妻となりました。

夫婦で歌人の大隈^{おおくま ことみち}言道に師事し、40歳の時、平尾の向陵に隠居所(平尾山荘)を作り隠棲生活を始めます。54歳の
時、夫貞貫が病没したため、剃髪し「招月望東禅尼^{しょうげつぼうとうぜん に}」となりますが、この頃から勤王の人々の知己を得ます。望東尼
は、平尾山荘に勤王の志士を度々かくまったり、密会の場所として提供したりするようになり、長州の高杉晋作も一
時期この平尾山荘に潜伏したことがあります。その後、福岡藩により、望東尼も姫島(現:糸島市志摩姫島)へ流刑と
なりますが、翌年高杉晋作の手配により脱出し、下関の商人白石^{しら いししょういちろう}正一郎宅に
かくまわれることとなりました。その頃望東尼が、高杉晋作を臨終の際まで
看病したとのことです。望東尼は半年後の慶応3年(1867)11月6日、三田尻
(現:山口県防府市)で病没しました。

遺稿として「向陵集」「上京日記」「姫島日記」「防州日記」などが残されてお
ります。

平尾望東会は、望東尼の波乱に満ちた生涯と行跡そして今は静かな平尾
山荘を後世に残すため、明治42年から以下のような活動を行ってきました。



平尾山荘

1. 平尾山荘の保存・美化……………平尾山荘及び周辺樹木の手入れ、毎月6日の清掃活動
2. 学習会の実施……………会員や小学生向けに望東尼の行跡や歌などについての学習活動
3. 広報誌の発行……………年6回「平尾望東会だより」の作成、平尾校区全戸配布
4. 周年忌祭の開催……………毎年11月6日、望東尼の命日に忌祭を開催
5. 他地区望東会との交流……………志摩望東会(糸島市)、防府望東会(防府市)との交流事業
6. その他事業……………梅ちぎり、観月会など



平尾望東尼祭の様子

現在校区内外で、200名以上の賛同者を集めていますが、まだまだ、野村
望東尼の知名度は低く、今後も様々な活動を通じ、多くの人に野村望東尼に
ついて知っていただくように頑張っていきたいと思います。

最後に平成28年は野村望東尼の150年忌にあたりますので、記念碑の設
立や150年忌祭の実施を計画しております。皆様ぜひ平尾山荘に足を運んで
みてください。

●福岡市コミュニティ通信は福岡市のホームページに掲載しています。

福岡市コミュニティ通信

検索

●J:COMでは福岡の地域情報を発信しています。

ふくおかまい COM

検索

お問い合わせ・地域の情報などは各区役所地域支援課まで

東 区役所 ☎092-645-1041 FAX:092-645-1042
博多区役所 ☎092-419-1048 FAX:092-434-0053
中央区役所 ☎092-718-1062 FAX:092-714-2141
南 区役所 ☎092-559-5072 FAX:092-562-3824

城南区役所 ☎092-833-4063 FAX:092-822-2142
早良区役所 ☎092-833-4416 FAX:092-851-2680
西 区役所 ☎092-895-7036 FAX:092-882-2137

次号(4月1日号)は、「共働(校区の活性化に繋がる企業・NPO等との共働事業)」をテーマにお届けいたします!